

みんなともだちだよ

対象児:4歳児きく組

作成日:2023年10月10日

作成者:大石京香

ねらい:自分から声を掛けながら、友達との繋がりを大切にする。



振り返り:最近のきく組さんの様子を見てみると、仲の良い友達や気の合う友達と一緒に遊ぶことが増えてきました。一人遊びをしていた子が友達のしている遊びに興味を示すようになり、集団で遊びを楽しむ姿も見られて嬉しく思っています。仲の良い友達が出来るとはとても良いことなのですがある時、教室でみんなが椅子に座っている様子を見ていたら、仲の良い子でグループになって座っている様子が見られました。きく組さんみんなが友達であって、誰とでも声を掛け合って一緒に座れたり、話したり出来たらいいなという思いがあり、その日の様子を振り返りながら考えていました。そこで思いついたことが、保育者が座る場所を決めるのではなく「くじ引き」を自分で引いて席を決めるのはどうかと思い、さっそく作って実践してみました。子ども達の反応は「ゲームみたい」とわくわくしている様子でした。1~4が書かれた数字を引いて、机の上にあるカードと同じ数字の所に座るように声を掛けました。数字に触れることで興味にも繋がっていくという考えもありました。1つの案である「くじ引き」を使って席を決めたり、時には自由に座りたい友達と座れるような環境の中で、これからはいろいろな友達と関わっていく楽しさを感じながら、毎日を過ごしていけたらと思っています。また、友達に優しく教えたり、困っている友達に気付くと、手を差し伸べることが自然と出来るような温かいクラスでありたいと思っています。大好きな友達と過ごしていく中で、トラブルになることもありますが、そこから学ぶこともたくさんあり、自分が今考えていること、今思っていることを打ち明けてもらえるような子ども達との関係性を大切に保育することが出来たらと思っています。

(協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、数量・図形・文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い)